



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)坂口 賢三 (TEL)048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,072	△20.7	591	△64.8	662	△61.8	439	△60.3
25年3月期第2四半期	10,175	△5.4	1,679	△17.1	1,736	△16.2	1,105	△18.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 715百万円(△26.7%) 25年3月期第2四半期 976百万円(△12.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	24 31	— —
25年3月期第2四半期	61 16	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,516	17,787	78.8
25年3月期	23,892	17,397	72.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,744百万円 25年3月期 17,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10 00	—	18 00	28 00
26年3月期	—	14 00			
26年3月期(予想)			—	14 00	28 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△13.7	1,300	△51.2	1,500	△46.1	1,000	6.8	55 34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	18,098,923株	25年3月期	18,098,923株
26年3月期2Q	30,353株	25年3月期	30,122株
26年3月期2Q	18,068,716株	25年3月期2Q	18,068,801株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成25年11月20日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、我が国では景気上昇と増税懸念、アメリカでは景気回復と量的緩和縮小、中国では経済成長の持続とバブル崩壊懸念といったプラスとマイナスの要因が様々な影響し、景気動向、景気観測の不透明感が続きました。

このような環境の中、当社グループの主力事業である巻線機事業に関連するマーケットでは、自動車業界を除き総じて中国での設備投資の手控えムード、その他の国でも設備投資への慎重姿勢が継続しました。業界別では、自動車業界については好調な生産や高機能化の進展によって堅調な設備投資が続き、主に日系、欧州系部品メーカーからの受注を中心に、中国、東南アジア向けの売上が順調に伸びております。情報通信業界は高機能化、多機能化部品用の設備需要は旺盛で、台湾、日系、欧州系向けの売上は堅調でしたが、チップコイル向けの設備投資が一段落し、売上は前年同期に比べ減少しました。AV・家電向けは、中国、台湾、日系のモーターメーカーの設備投資が一部で見られたものの、総じて低調に推移しました。PC・OA向けの設備投資需要は低迷を続け、その他(産業機器)は前年同期好調だったワイヤー関連業界の設備投資が一巡したため売上は減少しました。また、上述のように主要な業界での高機能化、多機能化戦略が重なったことによって、当社ではコストアップにつながる開発要素の多い物件が増加し、利益率を押し下げる要因となりました。

当社グループの巻線機事業は、種別で見ますと、自動車向けでは、車載モーター、イグニッションコイルなどを中心に堅調に推移し、情報通信向けでは、スピーカー、パワーインダクターは堅調でしたが、チップコイル向け設備が一巡したため、売上は微減となりました。AV・家電向けでは、省エネ対応への意欲は見られるものの、一部白物家電用モーターの設備投資を除き依然として本格的な設備導入には至りませんでした。これらのうち自動車を除く主力事業全般での開発済み量産機を中心とした受注回復は、第3四半期以降にずれ込む見通しとなりました。

これらの結果、売上高は80億72百万円(前年同期比20.7%減)、営業利益は5億91百万円(前年同期比64.8%減)、経常利益は6億62百万円(前年同期比61.8%減)、四半期純利益は4億39百万円(前年同期比60.3%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(巻線機事業)

全売上高の約96%を占める巻線機事業におきましては、前述の結果、連結売上高は77億45百万円(前年同期比20.8%減)、セグメント利益(営業利益)は8億36百万円(前年同期比55.2%減)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は53億57百万円(前年同期比19.5%減)、売上高(生産高)は68億99百万円(前年同期比21.8%減)、当第2四半期末の受注残高は31億99百万円(前年同期比37.8%減)となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、需要の減少に伴い、連結売上高は2億22百万円(前年同期比23.4%減)、セグメント利益(営業利益)は36百万円(前年同期比51.3%減)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は2億60百万円(前年同期比9.3%減)、売上高(生産高)は2億22百万円(前年同期比23.4%減)、当第2四半期末の受注残高は1億77百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、賃料の改定に伴い、連結売上高は1億4百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益(営業利益)は69百万円(前年同期比22.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比20億21百万円減少し、145億82百万円となりました。これは主として、原材料及び貯蔵品が1億16百万円増加したものの、現金及び預金が9億45百万円、受取手形及び売掛金が4億10百万円、仕掛品が7億10百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比6億46百万円増加し、79億34百万円となりました。これは主として、投資有価証券が7億20百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比13億75百万円減少し、225億16百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比17億76百万円減少し、35億56百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が15億3百万円、未払法人税等が79百万円、賞与引当金が71百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比11百万円増加し、11億72百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比17億65百万円減少し、47億29百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比3億90百万円増加し、177億87百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末対比15億63百万円減少し、56億19百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は55百万円(前年同期は12億92百万円の収入)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が6億62百万円、たな卸資産の減少が5億93百万円あったものの、仕入債務の減少が15億23百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億65百万円(前年同期比81.3%増)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入が17億16百万円あったものの、定期預金の預入による支出が23億14百万円、投資有価証券の取得による支出が5億25百万円、有形固定資産の取得による支出が1億円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億23百万円(前年同期比0.3%増)となりました。これは配当金の支払が3億23百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年11月8日付で業績予想の修正を行っております。なお、業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,606,103	8,660,354
受取手形及び売掛金	4,002,387	3,592,121
仕掛品	1,950,543	1,240,350
原材料及び貯蔵品	578,767	695,320
繰延税金資産	182,090	154,852
その他	287,421	242,422
貸倒引当金	△3,565	△3,147
流動資産合計	16,603,748	14,582,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,933,224	2,848,495
機械装置及び運搬具(純額)	422,002	403,326
土地	1,590,665	1,590,665
その他(純額)	196,051	205,369
有形固定資産合計	5,141,944	5,047,856
無形固定資産		
その他	91,018	90,915
無形固定資産合計	91,018	90,915
投資その他の資産		
投資有価証券	1,490,094	2,210,610
繰延税金資産	13,713	—
その他	558,080	592,042
貸倒引当金	△6,481	△6,983
投資その他の資産合計	2,055,407	2,795,669
固定資産合計	7,288,370	7,934,442
資産合計	23,892,118	22,516,717
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,756,361	2,252,480
未払法人税等	257,768	178,439
賞与引当金	305,337	233,783
その他	1,014,065	892,200
流動負債合計	5,333,532	3,556,903
固定負債		
退職給付引当金	355,088	336,279
負ののれん	23,103	—
その他	783,110	836,247
固定負債合計	1,161,302	1,172,527
負債合計	6,494,835	4,729,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	7,674,604	7,788,539
自己株式	△22,917	△23,138
株主資本合計	17,078,669	17,192,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,082	235,121
為替換算調整勘定	179,807	316,980
その他の包括利益累計額合計	278,889	552,101
少数株主持分	39,724	42,801
純資産合計	17,397,282	17,787,286
負債純資産合計	23,892,118	22,516,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,175,194	8,072,790
売上原価	7,198,325	6,039,228
売上総利益	2,976,868	2,033,561
販売費及び一般管理費	1,297,467	1,441,924
営業利益	1,679,401	591,636
営業外収益		
受取利息	9,127	19,820
受取配当金	11,619	13,364
負ののれん償却額	23,103	23,103
その他	19,849	27,578
営業外収益合計	63,700	83,867
営業外費用		
債権売却損	3,369	4,041
為替差損	2,741	—
減価償却費	—	7,723
その他	185	930
営業外費用合計	6,296	12,696
経常利益	1,736,805	662,808
特別利益		
固定資産売却益	20,002	10
その他	465	268
特別利益合計	20,468	278
特別損失		
固定資産売却損	9,922	84
固定資産除却損	1,875	76
投資有価証券評価損	86,961	—
その他	271	51
特別損失合計	99,031	211
税金等調整前四半期純利益	1,658,242	662,875
法人税、住民税及び事業税	519,187	183,325
法人税等調整額	33,242	36,022
法人税等合計	552,430	219,348
少数株主損益調整前四半期純利益	1,105,812	443,526
少数株主利益	773	4,353
四半期純利益	1,105,039	439,173

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,105,812	443,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,329	136,038
為替換算調整勘定	△125,199	135,897
その他の包括利益合計	△129,528	271,936
四半期包括利益	976,283	715,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	977,340	712,385
少数株主に係る四半期包括利益	△1,056	3,077

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,658,242	662,875
減価償却費	138,957	178,389
負ののれん償却額	△23,103	△23,103
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13,056	83
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,892	△31,034
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	44,545	△18,847
受取利息及び受取配当金	△20,747	△33,185
支払利息	155	55
有形固定資産売却損益 (△は益)	△10,079	73
有形固定資産除却損	1,875	76
投資有価証券評価損益 (△は益)	86,961	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△631,314	448,264
たな卸資産の増減額 (△は増加)	911,187	593,126
仕入債務の増減額 (△は減少)	△454,833	△1,523,073
前受金の増減額 (△は減少)	264,300	△83,149
その他	61,928	4,464
小計	2,035,910	175,014
利息及び配当金の受取額	20,616	32,248
利息の支払額	△155	△55
法人税等の支払額	△763,681	△263,058
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,292,689	△55,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,523,941	△2,314,119
定期預金の払戻による収入	1,315,489	1,716,292
有形固定資産の取得による支出	△385,297	△100,398
有形固定資産の売却による収入	60,212	2,177
投資有価証券の取得による支出	△110,800	△525,891
保険積立金の積立による支出	△34,761	△34,941
その他	△18,546	△8,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△697,644	△1,265,093
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△220
配当金の支払額	△322,759	△323,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△322,759	△323,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69,797	81,155
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	202,488	△1,563,389
現金及び現金同等物の期首残高	6,069,304	7,182,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,271,793	5,619,156

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	9,777,553	290,629	107,011	10,175,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,777,553	290,629	107,011	10,175,194
セグメント利益	1,867,026	75,041	88,776	2,030,843

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,030,843
全社費用(注)	△351,442
四半期連結損益計算書の営業利益	1,679,401

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	7,745,586	222,758	104,445	8,072,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,745,586	222,758	104,445	8,072,790
セグメント利益	836,732	36,510	69,252	942,495

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	942,495
全社費用(注)	△350,858
四半期連結損益計算書の営業利益	591,636

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。